



赤麻小だより



令和2年度 第10号

令和2年10月21日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしこい子 たくまい子

各学年で体験学習、校外学習を実施（その①）

運動会が終わっての10月。今月は各学年の体験学習や校外学習が活発に行われています。校外学習ではバスの台数を増やして座席の間隔を開けたり、消毒したり、バスの中でもマスクを着用して大声を出さないようにしたりと、引き続き新型コロナウイルス感染防止のための対応をとりながら、なるべく児童が体験したり、実物を見たり触れたりできるよう工夫して実施しています。

1年生生活科体験学習（10/6）うさぎの心音を聴く



10月6日（火）、1年生が生活科「いきものとなかよし」の学習でうさぎの心音を聴く体験学習を行いました。動物が命を持っていることに気づき、動物への親しみを持って、大切にできるようにすることがねらいです。

児童はまず始めに聴診器で自分の心音を聴き、聴診器の使い方を練習してから、担任がうさぎの心臓に当てた聴診器を通して、一人ずつ自分の耳でうさぎの心音を聴きました。そしてこの活動を通して知ったことを「らいねんの1ねんせいへ」としてまとめました。児童からは「うさぎの心臓の音は速い」という感想が聞かれました。

この体験活動は道徳「がんばれ！車いすのうさぎのきょんた」の学習にも活かしていきます。

2年生校外学習（10/13）

2年生は10月13日（火）に生活科「いきものとなかよし」の校外学習を行いました。新型コロナウイルス対応のため、市バス2台に分乗して渡良瀬運動公園に行き、虫取りをしました。地域にいる生き物に関心を持ち、採集した生き物を飼育することで、生命尊重の心を育てることがねらいです。児童は家から持ってきた虫取り網等を使いながら、トンボやバッタ、キリギリス等を捕まえました。

この後は、捕まえた虫を観察したり、餌やすみかを用意したりしながら、虫も大切な命を持っていることに気づき、親しみを持って飼えるよう、学習していきます。



3年生校外学習（10/5）



3年生は10月5日（月）に総合的な学習の校外学習として「渡良瀬遊水地湿地資料館」「道の駅みかも」に行きました。公共施設の役割を調べることが主な目的です。新型コロナウイルス対応のため、市バスを2台借りて、2グループに分かれ、施設の方の説明を聞いたり、展示物を見たり、買い物をしたりしてきました。児童のまとめには「遊水地に絶滅危惧種がたくさんいてびっくりした」「道の駅の地元の野菜はとても安いので、家族で行って買い物をしたい」等の感想が書かれていました。

1. 2年芋掘り (10/14)

10月14日(水)に1、2年生の生活科の芋掘りが行われました。5月に植えたサツマイモの収穫です。5月に続き、今回もボランティアさんのお力をお借りしました。5月は新型コロナウイルス感染防止の臨時休業中だったため、ボランティアさんと職員で苗を植えました。今回は児童が行うことができました。事前にボランティアさんに蔓を刈り取っていただいたお陰で、1、2年生の児童でも掘りやすかったです。中には両手で抱えなければ持てないような大きなものもあり、ボランティアさんの力を借りながら相当深くまで掘って、やっと掘り出せた芋もありました。掘り出した芋は児童が一人4、5本ずつ選び、持ち帰りました。児童からは「思ったより大きかった」「持ってみるととても重い」「芋掘りはとても楽しかった」等の感想が聞かれました。いつものことながらボランティアの皆様ありがとうございました。



2回目の自由参観(学校開放)を実施



10月17日(土)今年度2回目となる自由参観(学校開放)が実施されました。年度当初、この日はあかまっ子祭の予定でしたが昨年行っていたバザーや親子での昼食、児童の活動等が新型コロナウイルス感染防止の観点から実施が困難と考え、午前中の自由参観としました。雨の中、たくさんの保護者の方にご参観いただき、ありがとうございました。

授業力の向上を目指して！教職員も学んでいます

本年度の学校経営方針の重点の一つである「授業力・指導力の向上」を目指して、教職員も研修を計画的に行っています。その研修の一つとして10月6日(火)に栃木市教委の古橋先生をお招きして、授業研究会を行いました。本年度の学校課題『「わかる!」「できる!」を楽しみながら、考え表現する力を高める授業の創造～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を通して～』に向けて、5年生の算数「整数の見方」の授業を全教員が参観し、放課後、授業研究会を行いました。山口教諭の授業、そして授業についての話し合いや古橋先生のご指導から学べるものがたくさんありました。教員の授業力向上は児童の学力向上に直結します。今後も授業力・指導力の向上に向けて教職員も学んでいきます。



「おはようカラス」現る

今月の初め頃でした。朝、いつものように校門に立っていると、聞いたことのない、大きな声で「おはよ、おはよ」と聞こえてきました。声の主を探してみると、校門の脇の電柱のてっぺんにいるカラスだったので。毎日子ども達のあいさつを聞いていて覚えたのでしょうか？職員室でその話をすると、以前から本校に勤務している職員から、実はそのカラスは以前からその存在が知られていて、いつか会ってみたいと思っていたのに会えていなかったと聞かされました。赴任1年目で会えた私は幸運だったんですね。近所の方から学校に「おはようカラスが今朝いましたよ。」というお電話もいただきました。害鳥のイメージが強いカラスですが、朝から清々しい気持ちになりました。やはり挨拶の力は大きいものですね。

おはよ

